

北海道大学・生命科学院・臨床薬学専攻のホームページは、平成26年3月現在、リニューアルのため、一時的に閉鎖しております。お手数をおかけいたしますが、臨床薬学専攻に関するお問い合わせは、生命科学院・事務部事務課庶務担当 (shomu@mail.sci.hokudai.ac.jp)、または、以下に記載のホームページのアドレスをご参照ください。新しいホームページのオープンは、平成26年4月末を予定しております。

生命科学院 臨床薬学専攻

分野等	指導教員		研究内容
臨床薬学動態解析学	教授 准教授	井関 健 山口 浩明	<p>疾患に対して最適な薬物療法を実行するためには、正しい薬剤の選択を行うことが必要である。個々の治療に必要な薬物の体内動態解析に基づく薬剤投与の最適化、疾病への正確な薬学的診断及び患者の臨床状態を正しく把握し、薬物動態学研究結果に裏付けられた科学的薬物治療への適用方法の開発に関する研究・教育を行っている。</p> <p>【臨床薬剤学研究室】 http://rinyaku.pharm.hokudai.ac.jp/</p>
	教授 准教授	菅原 満洋 武隈	<p>薬物の体内動態に深く関わっている臓器における薬物輸送機構を明らかにする。特に小腸及び腎臓における細胞膜透過機構を、薬物の物理化学的性質及びトランスポーターの機能の観点から解明する。また、同様に薬物の体内動態に関わる代謝酵素の機能を明らかにし、薬物血中濃度や治療効果における個体間変動の要因を、これら機能性蛋白質の遺伝的多型や発現量等に注目して解明することで、個別投与設計の指標を確立する。これら機能性蛋白質の機能を踏まえた製剤設計も、重要なテーマの一つである。</p> <p>【薬物動態解析学研究室】 http://www.pharm.hokudai.ac.jp/org/doutai01.html</p>
	准教授	秋田 英万	<p>遺伝子・核酸治療のための基礎・開発研究として、ナノ粒子あるいは、そこに封入された高分子の体内動態・細胞内動態・核内動態の制御に関する研究をおこない、より安全で効率の良い薬物送達システムの開発を行っている。また、血中に投与したナノ粒子の体内動態制御法の開発や、DNAワクチン治療の実現に向けたナノ粒子設計や、ナノ粒子への搭載用素子の開発も行っている。</p> <p>【薬剤分子設計学研究室】 http://www.pharm.hokudai.ac.jp/yakusetu/index.html</p>
	准教授	山田 武宏	<p>薬物療法支援のための薬物血中濃度測定・解析による至適用法用量提案や、処方・検査データの調査から問題点を抽出し、臨床研究を行う。幅広い観点から、臨床の薬剤師業務において有用な基礎的、臨床的研究を行い、薬物療法の治療効果及び安全性向上への貢献を目的とする。</p> <p>【北海道大学病院薬剤部】 http://www.huhp.hokudai.ac.jp/medical/div-drug.html</p>

分野等	指導教員		研究内容
薬物治療情報学	教授	有賀 寛芳	<p>細胞癌化とパーキンソン病, 網膜性色素変性症などの遺伝病の発症機構を分子生物学, 細胞生物学的手法を用いて細胞, 動物レベルで解析する。特にMyc, DJ-1, PAP-1といった上記の原因タンパク質を中心として, その遺伝子とタンパク質ネットワークの解析により, 癌と遺伝病の接点を明らかにする。更にこれらの疾患への創薬応用を行う。</p> <p>【分子生物学研究室】 http://bunseiserver.pharm.hokudai.ac.jp/</p>
	教授 講師	武田 宏司 中川 宏治	<p>1) 難治性炎症性腸疾患におけるマクロファージ遊走阻止因子, 熱ショック蛋白 (HSP), 抑制性NK受容体の関わり の解明, 2) 固形癌におけるHIF-1を中心とした低酸素適応応答の分子機構の解明, 3) 食欲ホルモンであるグレリンに焦点を当てた食欲不振や栄養不良の病態解明, などの研究を通じて, 新しい治療法の開発をめざしている。</p> <p>【臨床病態解析学研究室】 http://www.pharm.hokudai.ac.jp/org/byoutai01.html</p>
	准教授	柴山 良彦	<p>がん化学療法の安全性と有効性を高めるためのバイオマーカー, 特にマイクロRNAに関する臨床研究および基礎研究を実務に携わる薬剤師や臨床医と共に行っている。また, 専門性が高く, 地域医療を先導する医療薬剤業務を担う薬剤師養成に関する教育・研修方法に関する研究も行っている。</p> <p>【臨床薬学教育研究センター】 http://www.pharm.hokudai.ac.jp/erccp/index.html</p>